

生き生き元気 夕張!

広  
報

# ゆうばり

No.1276 2009



- 当面する行政執行体制の確保に向けての取り組み…………… 2
- 清水沢中学校大規模改造工事始まる…………… 4



## 歓声がこだまするプール。夏は水遊びにかぎる。

7月4日、清水沢プールに半透明の屋根が設置され、屋内化に整備されオープンしました。待ちかねた子どもたちが、1年ぶりのプール遊びに、歓声と水しぶきをあげていました。

今年は8月30日までの開設期間で、午前10時から午後5時まで、利用料金は、大人310円、高校生100円、中学生以下は無料となっています。

幼児用プールにもメロンハウス式の屋根が取り付けられ温室プールになっています。



## 当面する行政執行体制の確保に向けての取り組み

問合せ先 市総務グループ ☎52-3170

行政執行体制の確保については、財政再建計画の中で、総人件費抑制が計画の大きな柱となっています。

一方で、急激な職員数の減少は、様々な分野で影響が出ています。このままの体制では行政サービスの提供が困難となるのが予想されます。

5月に開催した「住民説明会」の中でも、「住民サービスの維持のための適正な職員の配置」と「職員の処遇について、類似団体の状況を踏まえ必要な改善」を検討することとしていました。

行政執行体制の確保に向けて、現状と当面の措置についての内容をお知らせします。

これまで行政組織の見直しはどのようにしてきたのですか？

財政再建計画の実行に伴い、行政体制は平成19年度から部を廃止し、組織の統廃合をしました。

更に平成20年1月からは、係制を廃止し「グループ制」を導入し1室4課10グループによる組織のスリム化を進めてきています。

職員数の削減について、現在の状況はどのようになっていますか？

平成18年度当初の職員数は、病院職員を含め全体で399人、財政再建団体となった平成19年度当初では、16

5人まで職員が減少しました。

現在は、全体で147人で、平成19年度と比べると、18人減少しています。

財政再建計画では、普通会計（行政職員、消防職員、学校職員）に属する職員数は、平成21年度当初134人となっています。

現在の状況は、普通会計に属する職員数は、128人となっています。計画

からは6人下回った職員数となっています。

再建計画での職員の給与削減の状況はどのようになっていますか？

財政再建計画では、  
▼総人件費の大幅な削減として、全国の市町村の中で最も低い給与水準としました。

### ◎職員数の状況

仕事の内容	年 度 (人)		
	平成18	平成19	平成21
①市議会に関すること	5	3	2
②市の財政、総務、南支所(連絡所)などに関すること	74	38	38
③税などの賦課、収納に関すること	12	7	9
④農業、林業に関すること	8	5	2
⑤商業、工業、観光に関すること	10	3	2
⑥公営住宅、道路、公園、除雪に関すること	30	9	11
⑦福祉、生活保護、年金に関すること	30	18	7
⑧市民健診などの保健、ごみ、環境に関すること	15	7	5
⑨教育に関すること	36	12	12
⑩消防	49	38	40
小 計(普通会計)	269	140	128
⑪水道、下水道に関すること	16	10	5
⑫国民健康保険、介護保険などに関すること	16	15	14
⑬市立総合病院の事務職員	8		
⑬市立総合病院の医師、看護師など	90		
合 計	399	165	147

※各年度 4月1日現在

現在、行政執行体制は、道職員、道内外の自治体から応援職員20名によって支えられており、市職員の2割に相

**職員の処遇改善はいつごろ必要なのでしょうか？**

## ○現在の平均年収（一般行政職）

団体名	平均年齢	平均年収(円)	備考
北海道 夕張市	43.5	3,891,496	
沖縄県 伊平屋村	43.6	4,521,004	全国で夕張の次に低い団体
北海道 赤平市	40.9	4,764,712	全市で夕張の次に低い団体

※総務省公表「地方公共団体別給与等の比較(平成20年)」を用いた試算

▼給与については、給料月額を平成19年4月から、平成18年度の月額を平均30%の削減としました。  
 期末勤勉手当は、平成19年度から、平成23年度までは、支給月数を2ヶ月削減し、年2.5ヶ月としています。  
 その結果、平均年収では、平成18年度から40%の削減となっています。

当します。しかし、将来的に職員派遣が続く状況にありません。

また、大幅な給与の削減などで、退職を考えざるを得ないとする職員が潜在しています。これ以上、職員が減少すれば行政サービスの低下は避けられませんが、行政運営が成り立たなくなってしまう。

行政サービスを維持し、市民の皆さんの生活と暮らしを守っていくためにも、職員の職務環境を早急に整え、行政執行体制の確保を図る必要があります。

そのため、現在の財政再建計画の範囲内で、実施できる処遇改善を行いたいと考えています。



夕張市長  
藤倉 肇

私が、市長に就任してから今日までの間に、21人の一般職員が退職しました。「何とか思い留まって欲しい」と説得をしましたが、職員自身の生活への不安などから、残念ながら退職せざるを得ない状況でした。

今でも、将来への不安などから退職を思い悩んでいる職員が多くいるのも事実です。

今の市役所は、北海道をはじめと道内外の自治体から20名の応援を受けて行政運営が行われていますが、このこと事態が「非常事態」と言えます。

これ以上、職員が減少することになれば、行政運営が出来なくなるのは確実です。

5月開催の「住民説明会」でも各会場では、職員の処遇改善を求める意見が多く出されました。

私は、市民の生活と暮らしを守っていくためにも、職員の確保と職員自身が意欲を持って職務に専念できる環境を作り、行政サービスを維持確保していくことが、市長の責務と考えています。

従って、今年度やらなければならない改善措置として、9月開催の定例市議会に財政再建計画の変更を行うための準備を進めています。市民の皆さんのご理解をお願いします。

**今年度の処遇の改善はどのように行われるのですか？  
また、財政再建計画に及ぼす影響はどのようでしょうか？**

基本給の変更については、財政再建計画に及ぼす影響が大きいことから、影響を最小限に抑え、「全国最低の年間給与水準」が堅持できる範囲での改善とし、期末勤勉手当支給月数の変更により、年収を基本に給与改善を行いたいと考えています。

期末勤勉手当は6月と12月に支給されていますが、財政再建計画では、支給月数は国の支給月数から2ヶ月削減

した、年2.5ヶ月としています。この年間月数を1ヶ月復元し、年間3.5ヶ月に今年度から変更しようとするものです。期末勤勉手当を1ヶ月復元した場合の経費については、年間で約3、627万円と試算をしているところです。

**職員に対する処遇改善するNUP、効果は期待できるのでしょうか？**

期末勤勉手当の支給月数の変更による処遇改善により、懸念されている退職の抑制や職員が意欲を持って職務に専念できるものと考えており、必要な行政サービスが安定的に市民に提供できるようにさらに努力します。

